

一期一会

題字 一期一会 揮毫 西条市立氷見小教諭 千羽菜々恵 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスパワービル愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

- (2) 学校紹介 吉田中学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) (5) 特集「心に残る先生子ども学校」
- (6) (7) 第32回四国地区学校図書館研究大会伊予大会を終えて
- (8) ふるさとスケッチ ローカルトピックス

映画・映像で発信する愛媛の魅力



フィルムコミッショナー 泉谷昇

私は、2001年に東京から愛媛に移住してきました。理由は、翌年愛媛県庁観光国際課に誕生する「えひめフィルム・コミッション」に参画するためです。

「えひめフィルム・コミッション」は、「映画や映像作品の撮影を愛媛に誘致・支援する」非営利活動機関です。担当者となった私は県内各地を巡りながら、撮影候補地を探しました。このような取組は当時まだ珍しく知る人も少なかったのですが、2004年に公開された映画「世界の中心で、愛をさけぶ」がきっかけで、多くの人に知られるようになりました。

この映画では、愛媛県庁本館を主人公が入院している病院として撮影したり、主人公が通う学校を愛媛県立伊予高等学校で撮影させてもらったりしました。「坂の上の雲」「笑うマトリョーシカ」「バスカヴィル家の犬」「劇場版トリリオンゲーム」などなど、愛媛県内で撮影された場所はたくさんあり、これまでの撮影誘致支援実績は600本以上になりました。最近では、アニメ作品にも協力しています。

作品として公開されると、毎日生活している日常の場所が非日常の場所になり、いつもの光景が変わって見えます。その結果、物語を追体験したい、登場人物と接点を持ちたいと思うファンが愛媛を訪れ「聖地巡礼」をするようになりました。ファンや視聴者がその場所を訪れたいと思う「動機」は、ロケ地が物語の世界観に合う場所であることや、ロケ地で食べられるような味への興味です。そのような観光資源は、有名な観光地よりも、私たちが普段から知っていて見慣れている場所の中にあるように思います。毎日、何気なく見る景色、時に埋もれているかも知れない歴史や文化など、一つ一つが愛媛固有の魅力資源です。この魅力ある愛媛の観光資源を発掘し、映像などを通して活用する役目が「えひめフィルム・コミッション」にはあります。

今後も愛媛県の魅力を通して国内外へ発信し、地域の「よさ」を一人ひとりに感じていただけたらいいです。皆さんにも撮影の相談（校舎などでの撮影）をする時があるかもしれません。その時は「愛媛文教月報3月号で紹介されました。」と声をかけるかもしれません。

- 一略 歴一
- ・1971年 東京都出身 高校卒業後渡米
 - ・2002～2008年 映像制作等を学び帰国
 - ・2008～2011年 愛媛県観光課勤務
 - ・2011年 松山市観光産業振興課勤務
 - ・2011年 「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げた市民大学「いよこころザシ大学」設立
 - ・「世界の中心で、愛をさけぶ」「HERO」がきっかけで「いよこころ」の番組「リバーズ」「バスカヴィル家の犬」「離婚しようよ」「笑うマトリョーシカ」「トリリオンゲーム」など600本以上の映画、映像作品の撮影支援に携わる。

聞ぶょう響

令和6年、日本の出生数が70万人を初めて下回り過去最低となったことが大きく報道された。日本の将来に不安を覚えた人は多かったのではないかと。国も地方自治体も様々な策を打っているが、なかなか少子化の波を止められずにいる。令和8年は周知のとおり「丙午」の年である。前回の丙午は昭和41年。江戸時代の「八百屋お七」の話が由来となり、「丙午年生まれ女性は気が激しく夫を不幸にする」という迷信が信じられていた。ベビーブームの真ただ中にもかかわらず、出生率が前年に比べ25%も減った。令和の世において迷信など気にする人は少なく、今年の出生率が極端に落ちることはないと思いたい。しかし、かの福沢諭吉が「これまでの暦にはつまらぬ吉凶を記し黒日の白日のとて訳もわからぬ日柄を定たれば」と称した六曜で、結婚式や葬儀等の日を決定している現実がある。また、同和問題もやはり。根も葉もない噂や誤った認識による差別が未だになくならない。人は「親が子を慈しみ、子が親を慕う」「子どもの成長に一喜一憂しながら、親も共に成長する」などの大きな幸せを感じながら子育てをし、次世代に社会を引き継いできた。子育てしやすい環境が整い、迷信や噂に惑わされず、出生率が上がりやすくなるように。四人の孫の面倒に日々奮闘している私ができるのは、祈りをささげることのみである。

ひとこと

故郷



西予教育会 会長 山本 裕二

私の生家の目の前に、「港の森」三嶋神社がある。屋根を傷めるという理由で、20年ほど前に伐採されてしまったが、神社にはかつて、大きなイチヨウの木があった。境内は、日頃から子どもたちの格好の遊び場で、パッチン(メンコ)やビー玉遊びなどをよくしたが、晩秋の遊びは、何と言っても相撲だった。

や粘り腰の「初代貴ノ花」。私は大好きな貴ノ花になり切り、「うっちゃり」や「外掛け」で体の大きな幼馴染たちに立ち向かった。

あれから60年。子どもたちの歓声が響いていた境内は、静寂に満ちている。私が生まれた昭和30年代前半に3、800人を超えていた故郷惣川(西予市野村町)の人口は、先日ついに250人を割り込んだ。故郷は、人口減少率(昭和30年代前半比)93%を超えた、まさに限界集落となっている。現在私は、その惣川で地域づくり活動センター職員として勤務している。人が減り、昔のにぎわいを故郷に取り戻す妙案はないが、「今、故郷で生きている住民の皆さんの笑顔のために、力を尽くしたい」という思いで働いている。大切な思い出を育んでくれた故郷惣川に対する、小さな恩返しのもりで。

学校紹介

No.266

宇和島市立吉田中学校

「我が町吉田」の 明るい未来を目指して

昭和43年、吉田南・東・西の3中学校が統合し、吉田中学校が誕生しました。長い歴史の中で、学習、スポーツ、文化活動において多くの実績を残しました。中でも部活動での活躍が輝かしく、新体操部の県総体8連覇、陸上部の県総体優勝4回、県中学駅伝優勝6回、バスケットボール部、サッカー部、柔道部、水泳部の県総体優勝、その他、各競技個人優勝など、今なお、卒業生や地域住民の語り草となっています。



部活動の地域展開が進められて中、本校でも何名かの地域人材が支えてくださっています。全員が吉田町在住の本校卒業生で、かつて自分たちが鍛えられたよう

に、「吉田の子どもらは自分らの手で」との熱い気持ちで指導されています。

平成30年7月7日、西日本豪雨が吉田町を襲いました。山が削られ、川があふれました。本校の校舎も水に飲み込まれました。被災後、各方面からの支援を受けながら、保護者や地域住民、教職員が一丸となり、学校の復旧に尽力しました。

あれから7年。毎年、7月第一週に豪雨災害復興祈念行事を開催しています。

昨年度は、当時の中学生(現大学生)を招き、当時の様子や中学生へ向けた願いなどを語っていただきました。「吉田中の復興に多くの方が関わってくださったように、皆さんも誰かが窮地に立った時、手を差し伸べる大人になってほしい。」先輩の言葉が中学生の心にしみ入りました。

吉田町には各種団体が主催する多くの地域行事があり、生徒たちの多くが積極的に参加しています。そして、参加する中で、自分たちの行動が吉田町を元氣付けることになるのだと実感するようになりました。

昔から吉田中は地域とともに歩んできました。これからも、「我が町吉田」の明るい未来を目指して、地域とともに歩んでいきたいと思えます。

(教頭 泉 正人)

題字に寄せて

一期一会



西条市立氷見小 教諭 千羽菜々恵

私が一番大切にしていることは「一期一会」です。教職に就いて2年。今の私があるのは、先輩方や子どもたち、支えてくれる友人や家族、地域の方々など、これまでの多くの温かい出会いのおかげです。その一人ひとりから受け取った言葉や励まし、関わりの全てが、未熟な私を支え、成長の糧となっています。
どのような出会いも決して当たり前ではなく、二度とないかけがえのないものです。今ある全ての縁に深く感謝し、これから出会う人とも真摯に向き合う。常に「一期一会」の心を胸に、一日一日を大切に積み重ね、日々の教育活動に、全身全霊でまい進していきたいです。

ふるさとに生きる

次代のために故郷に生きる



寺坂 俊一先生

訪問者

関岡 寿登 (八幡浜教育会会長)

寺坂俊一先生は、平成29年度末に八幡浜市立愛宕中学校の校長を最後に、ご退職されました。退職前には、愛教研八幡浜支部長にも就かれ、広い視野から八幡浜教育全体のために尽力されました。
退職後も教育に対する熱い思いは変わらず、八幡浜教育会理事を始め、社会教育課指導員、市内小学校理科の非常勤講師なども務められ、八幡浜教育に大きく貢献されています。そのよ

No.134

文教俳句

一俳句ポストより

初雪やしんと街並み更けてゆく 松山市 池田 容子
瑞雲や馬駆けると初景色 松山市 池田 容子
熱燗や再会果たす坊っちゃん 八幡浜市 石田 洋市
切なきままでに命沸き立つ秋祭り 東京都 三宅 二郎
日向ぼこ病院帰りの公園で 松山市 三谷 美貴



れ、会長として活動を展開されています。
STEAM教育やSDGsの流れを汲むこの活動では、多くの退職された先生方の協力を仰ぎ、日本漢字能力検定協会が主催する漢字検定の準会場としての登録を行い、現職の先生方に一切の負担をかけずに、市内のすべての児童生徒に漢字検定の機会を創出していきます。プログラミング教育に特化したドローン出前授業の開催、長期休業を活用した児童クラブによる様々な体験活動の実施、また公民館と連携した三世代対象の防災教育の推進等にも取り組まれていきます。さらに昨年からは、理科部会だけでは運営が困難となった「科学の祭典」の事務局も担当され、子どもたちの果てなき好奇心の広がりと同じく、多様な活動は、ますます寺坂先生が今一番気に

なっていることは、市内商店街のシャッター化です。人の集う商店街にしていくにはどうすればよいかと考へ、商店街全体を教育の場にとらえ、子どもたちの豊かな発想で地域を活気付けていけるよう学校や行政をおられます。時間のかかる取組ではありますが、「若い頃から取り組んでいるサッカーやジョギングに励み、健康を維持したい」と思っています。」と語られた寺坂先生。今後のご活躍を期待したいと思います。

寺坂 俊一先生(68歳)

(八幡浜市若山在住)

公益財団法人愛媛県教育会の積立年金制度

【拠出型企業年金保険(02)】

豊かな老後のための備えとして、将来の年金の準備に活用できます。 ※制度内容等の詳細は、パンフレットをご参照ください。

【制度内容に関するお問い合わせ先】 公益財団法人 愛媛県教育会 〒790-8545 愛媛県松山市現谷町1丁目5-33 電話 089-945-2511
【その他お問い合わせ先】 明治安田生命保険相互会社 四国公法人営業推進部 〒760-0017 香川県高松市番町1-7-5 明治安田生命高松ビル2階 電話 087-821-6811 MY-CF-25-386-804835-260114-1

特集

心に残る先生・子ども・学校

同情はやめてください



四国中央教育会
OB
酒井 学

流行りの青春ドラマに憧れて教師になった若い頃の私は、恥ずかしながら「オレについてこい」的なイケイケ教師でした。未熟な生徒たちが教師の声かけで一つになっていく世界を夢見ていた27歳のとき、私は初めて、聴覚障害のある生徒の担任になりました。

当時、野球に青春を懸ける難聴の生徒と教師の姿を感動的に描く「遙かなる甲子園」という映画がありました。そこで私は、クラス全員で視聴しようと思いつきます。野球部員の彼を重ねて、学級全体が盛り上がるだろうと。意気揚々と彼に提案しましたが、喜んでもらえるという予想は見事に裏切られました。

「嫌です。同情はやめてください。」
きっぱり断る彼の言葉に、衝撃を受けました。私の「思いつき」は勝手な思いやりの押しつけであり、

「障がい」に対する認識の甘さが露呈したことにほかなりません。そして同時に、未熟な私とは裏腹に、学級の生徒たちが自然に彼に寄り添ってサポートしていることにも気付きました。教師の呼びかけがあれば、後ろの生徒が肩に触れて教える。複雑な内容は、さっとメモをして見せる。当たり前前に心地よい空間を実現させていたのです。彼の存在が、私を含め周りの人々を成長させている現実が、そこにはありました。

好きなことを
仕事にすること



今治市立立花中
教諭
松田 芽依

私は今年度から新規採用となり、中学校で国語を教えている。教員になったのは、高校時代の国語の先生

の影響が大きい。

高校2年生の頃、私は進路について悩んでいた。祖母が看護師だったため、幼い頃から祖母の姿を見て憧れていた。しかし、いざ進路を決める段階になると、自分が本当にしたことは何なのか分からなくなりました。そして、看護師以外の仕事も視野に入れたいと思い始めていた。

そんなとき、当時の先生に進路について相談した。先生は、自分も国語が好きで教員になったと話してくださった。最初は好きなことを仕事にしたいの不安だったが、好きだから続けられた部分もあるとおっしゃっていた。

私は幼い頃から本を読むことが好きで、国語が好きだった。物語の世界に入り込めることや、文章を読み解くのが楽しかったからだ。しかし、それを仕事にするとという発想がなかった。先生の話を聞いて、好きなことを仕事にしても良いのだと思えた。それが教員を目指した一番のきっかけである。

いざ教壇に立つてみると、毎日が試行錯誤の連続である。まだまだ未熟で、思うようにいかないことが多い。それでも、あの時先生が関わってくれたように、私もいつか生徒の進む道を照らせる存在になりたいと思っている。これからも真剣に生徒と向き合い、成長し続ける教師でありたい。

足跡をつづる、私を記す、形に残す。

あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか

「本」づくり応援

品質・デザイン力に自信あり!

受賞作品
多数制作

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 字罫のお見積り
- その他、ご相談承ります。

TEL.089-945-0112 FAX.089-947-6073

SEKI セキ株式会社

TEL.089-945-0111
TEL.03-3377-1230
www.seki.co.jp

教育振興
事業

福祉
事業

共済
事業

奨学事業
教育研究助成事業
教育文化事業

(提携保険事業)

教育の振興を目指す!
日教弘の
「3大事業」

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市桜谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

出会いは宝



松山市教育会
OB
浅野 浩重

私の手元には備忘録として書き始めた『十年日記』が4冊ある。34年間の教員生活で出会った児童、教職員、地域の方々など、全てが私にとって宝であり、思い出である。小学生の頃、やんちゃだった私に「作文に書いている中の一つでもいから実行できたなら、もっと成長できるのにな」と、いつも穏やかに声を掛けてくださった6年生の担任の

先生のことは、今でも覚えている。高校生の時、よくテレビで見っていたドラマ『3年B組金八先生』にこれがれていたが、大学卒業後は、企業に就職した。でも、心の奥底にはずっと教師になりたいという思いがあった。そして、長男が生まれた年に採用試験を受け、念願の教員生活が始まった。

思い描いたようなことばかりではなかったが、子どもたちと学校生活を送る中で本当に教師になつてよかったと思つた。

教諭の時には、愛媛県綱引き選手権大会で優勝したり、校長になってからは、相撲総体の団体戦で優勝したりするなど、子どもたちからすてきなプレゼントをもらったこともあった。

祝 受章・受賞おめでとうござります

◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 内田 信様 88歳 元新居浜市立神郷小学校校長 新居浜市
- 河本 坦様 88歳 元西条市立南小学校校長 西条市
- 小林 征子様 88歳 元三崎町立三崎小学校校長 伊方町
- 丹 三枝子様 88歳 元西条市立楨瑞小学校校長 西条市
- 濱井 賢治様 88歳 元小松町立小松小学校校長 西条市

◆令和7年度教育者文部科学大臣表彰

- 客野 英司様 松山市立道後中学校校長
- 前原 淳様 今治市立大西小学校校長

◆令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰

- 浅海 直子様 今治市立吹揚小学校教諭
- 佐伯 理子様 松山市立石井小学校教諭
- 白石 貴士様 伊予市立伊予小学校主幹教諭
- 小川 智也様 西予市立伊予小学校教諭
- 篠原美和子様 新居浜市立中萩中学校養護教諭
- 一瀬 望様 松山市立三津浜中学校養護教諭
- 矢野 晴基様 八幡浜市立八幡浜中学校教諭
- 鬼北町立広見中学校教職員一同様

謝している。教師としての『心に残る思い出日記』は、現在も進行中である。

出会い・感動・挑戦



愛南町立船越小
教諭 松岡 収二

平成元年4月、初任者で船越小学校に赴任した。縁あって、37年たった今、この船越小学校で教員人生を終えようとしている。全ての子どもたちとの出会いや感動が私を支えてくれているのであるが、特に心に残っているのは次の子どもたちだ。

卒業して30年たった今も、「先生」と呼んでくれ、今も定期的に同窓会を楽しんでくれる福浦小の卒業生たち。こんなに長くつきあえる子どもたちとの出会いに感謝する。

全国大会出場という目標を掲げ、毎日テニス練習に打ち込み、夢をかなえた篠山小の卒業生。3年間、学級担任として一番近くで応援し、多くの感動を味わうことができた。

50代後半で受け持った平城小の3年生たち。昼休みになると、「先生、遊ぼう」と声を掛けてくれ、毎日のように楽しく遊んだ3年間。年齢に関係なく、体を動かすことの楽しさを教えてもらった。

たくさんの子どもたちとつながり、日々新しいことに挑戦した37年間。そんな私の60歳からの新たな挑戦、それは愛南町トライアスロン大会の完走である。故郷への感謝と、教え子にかけてもらう完走メダルを楽しみに。

私は、故郷と子どもたちから、学び続けること・挑戦し続けることのすばらしさを学んだ。人生100年時代である。これからも10年、20年、挑戦し続けている人々と出会い、感動ある生き方を目指したい。

TRIM トリムイオン整水器のご案内

私たちの身体の約60%は水が占めています。飲む水も、料理で使う水も、私たちの生活のさまざまな場面でふれあうすべての水を生命に適した、よりよい水でお届けしたい。それが日本トリムの考える「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」です。



お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合

第32回四国地区学校図書館研究大会

(伊予大会)を終えて

はじめに

令和7年11月27日(木)、28日(金)に、IYO夢みらい館を主会場として、伊予市立郡中小学校、伊予市立港南中学校、愛媛県立伊予農業高等学校の3会場で、第32回四国地区学校図書館研究大会(伊予大会)を開催した。本県での開催は8年ぶりであり、四国内外から多くの参加者が集った。

「本と人」「情報と人」「人と人」をつなぐ学校図書館の可能性を改めて見つめ直したい、そんな願いを込めて、また、小学校段階から高等学校卒業段階までを見通し、大会主題を「確かな学びを支え、豊かな心を育む学校図書館」とした。



合同全体会

公益社団法人全国学校図書館協議会 理事長 野口武悟様から「学校図書館の現状と課題」について講話をいただいた。その中で、学校図書館を学校の中心に位置付けたデュイの「学校図書館は、子どもたちが様々な経験、課題、疑問、自分たちで発見した事実を持ち込んで『新たな光を投じるため

の議論を重ねる場」である。という言葉が強く印象に残った。

学校図書館を巡る状況と課題では、法的根拠を示して「不読率の低減と確かな読み」「多様な子どもたちの読書機会の確保」「デジタル化に対応した読書環境の整備」「子ども視点に立った読書活動の推進」の4点について話された。

学校図書館の現状では、客観的なデータに基づいて課題を提示された。学校図書館の情報化に向けた予算、電子書籍への対応と公立学校における電子書籍サービスの導入、公立図書館との連携など、学校と行政がそれぞれの役割を理解して連携することの重要性を学ぶことができた。

◆記念講演

作家 早見和真氏を講師に、「あえて実直に、物語の話をする」との演題で、記念講演を行った。

早見氏は、デビュー以来拠点を変えながら執筆活動を続け、2016年からの6年間は松山市で暮らしながら、創作物語「かなしきデブ猫ちゃん」を考案した本県ゆかりの作家である。自身の幼少期の出来事や考え、家族との関わり方や教育方針などに触れられ、早見氏の、様々な経験や多様な人々との出会い、その時々や感情や考えを聞きながら、それら全てを早見氏自身がチャンスとしてつかみ取り、その経験値が彼の感性



を磨き、現在に至っているのだと感じた。時代背景は違えども、このリアルな人々との関わりは、本県が目指す「アナログとデジタルのベストミックス」の視点にもつながるものである。

早見氏の講演から、行動する力と物事を柔軟に捉えることの大切さを教えていただいた。時にユーモアを交え、分かりやすい言葉で話される早見氏に、参加者は、すっかり魅了されていた。

小学校部会

伊予市立郡中小学校

研究主題 「自ら学び、豊かに表現し、高め合う児童の育成」
「学校図書館を活用しながら言語活動の充実を図った「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を通して」

◆研究発表

「授業づくり部会」「環境整備運営部会」「読書活動推進部会」を編成し、組織的な研究を行った。その結果、図書館機能を活用した授業改善や環境の整備により、学びに対する主体性の高まりと学習内容の理解の深化が見られた。また、読書活動の推進においては、本の世界への関心の高まりが見られた。課題としては、様々なジャンルの図書と出合うための環境づくりや演出の工夫があげられる。また、基礎的・基本的な学力の向

上と併せた読書の楽しさや有用性を実感できるような指導が必要である。

◆提案授業

○第2学年 国語科
指導者 二宮 花心 教諭
単元名 「お話しじゅつかん」を作ろう

ポスターセッションの形式を取り入れ、本を紹介し合った。役割を交代しながら実施することで、児童同士の会話が生まれていた。本の種類によって教室を四つのコーナーに分け、本を紹介する絵とカードを看板のように設置するなど、交流が深まり本に対する関心が高まるよう、環境が工夫されていた。

○第3学年 国語科
指導者 久家 龍星 教諭
単元名 「おすすぬ図書カード」を作ろう

同じ本を読んだ児童同士が小集団で交流することで、物語の新たな面白さに気付くことができるよう工夫されていた。また、全校児童に関心をもって読んでもらおうとする思いを意識付けることで、より良い「おすすぬ図書カード」を作ろうとする意欲が高まり、児童の主体的な学びにつながっていた。

○第5学年 総合的な学習の時間
指導者 長井伸太郎 教諭
単元名 伊予市の環境を守ろう
思考ツールを効果的に用いており、児童自身が考えを整理できるように工夫されていた。教室には、関連する図書資料やこれまでの学習成果物が掲示され、前時の活動をより具体的な取組へとつなげる

ことを意識した話し合い活動が展開された。根拠をもつて自分の考えが述べられるよう、また、具体的な実践へのアドバイスがもらえるようアドバイザーを招くなど、環境整備への配慮もなされていた。



◇提案研究

○学びを支える学校図書館
提案者 内子町立内子小学校
青木 桃子 教諭

提案者 三豊市立山本小学校
貞廣有里子 指導教諭

提案者 三豊市立二ノ宮小学校
伊賀 ユミ 教諭

○人や社会とつながる学校図書館
提案者 今治市立吉海小学校
村上加代子 教諭

提案者 三好市立白地小学校
上野三千代 教諭

○豊かな心を育む学校図書館
提案者 久万高原町立久万小学校
中村 麻弥 教諭

提案者 香美市立山田小学校
藤川 亜矢 教諭

中学校部会

伊予市立港南中学校

研究主題 「深い学びの実現を目指した授業の在り方」
1 学校図書館の有効な活用を通して

◇研究発表

研究の柱として、①豊かな心を

育む読書活動の充実【読書活動】、②自ら学ぶ力を育て、確かな学力につなげる【授業改善】、③魅力ある学校図書館の創造【環境整備】を設定し、研究を進めた。その結果、静かに本を読む場所であった図書館が「学びが生まれる場所」「人と人がつながる場所」へと変化し、学びの場としての学校図書館の機能が充実した。また、図書委員をはじめとする生徒の中に主体性が芽生え、授業の中で自ら問いを立てて調べる姿が見られた。さらには、「教える側」から「共に学びを創る側」へと教師の授業観が変容するなど、多くの成果が報告された。

◇提案授業

○第1学年 国語科

指導者 丸山 佑樹 教諭
単元名 詩を読み味わおう
単元全体を通して、学校図書館にある詩集だけでなく、公立図書館から借りた詩集を活用するなど、多様な詩に触れる機会を設けていた。「パフォーミング課題」を解決するために、生徒が目的を持って進んで詩を読もうとするための工夫がなされていた。

○第2学年 道徳科
指導者 中村 浩輔 教諭
主題名 「弱さの克服」
内容項目 「よりよく生きる喜び」を指導するにあたり、歴史上の人物の伝記や、オリンピックク、パラリンピックで活躍する人物の本を読む学習活動を取り入れ、生徒が自身の内面と向き合いながら、より深く考えられるように図書を活用していた。

○第3学年 外国語科
指導者 武智 真理 教諭
ALT Zev Green
単元名 What does it mean to be a global citizen?
学校図書館から、世界に目を向けて、学校図書館を利用した「スカベンジャーハント」を行うことで、対話を通じた学び合いやコミュニケーション力の向上を図っていた。



ふだんあまり手に取らないような本との偶然の出会いを演出することで、生徒と学校図書館とのつながりを深める工夫がなされた授業であった。

◇提案研究

○学びを支える学校図書館
提案者 西条市立西条東中学校
廣田 和希 教諭

提案者 観音寺市立中部中学校
小松 響 教諭

○人や社会とつながる学校図書館
提案者 松山市立高浜中学校
栞見 佳子 教諭

提案者 石井町立高浦中学校
居 美和子 教諭

○豊かな心を育む学校図書館
提案者 鬼北町立日吉中学校
亀井 涼香 教諭

提案者 宇和島市立吉田中学校
村上 恵 教諭

提案者 大洲市立大洲北中学校
井上 恵美 教諭

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

高等学校部会

愛媛県立伊予農業高等学校を会場に、情報交換を行った。

情報交換主題

「図書館活動の活性化」

◇提案研究

○ものづくり ひとつづくり 吉高
図書館からの挑戦
もう一行 もう一ページ もう一冊 知と技を広げる図書館教育

提案者 愛媛県立吉田高等学校
山中 恵 教諭

○マーケティング理論を用いた学校図書館経営
提案者 香川県立琴平高等学校
熊野 明美 実習教諭

○図書館の魅力伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

○探究活動における学校図書館・公立図書館との連携
提案者 高知県立清水高等学校
坂本 亮 教諭

○図書館の魅力を伝えたい！
「ディスプレイグループの取組」
提案者 徳島県立つるぎ高等学校
水野 文恵 司書(主任)

ふるさとスケッチ

No.496

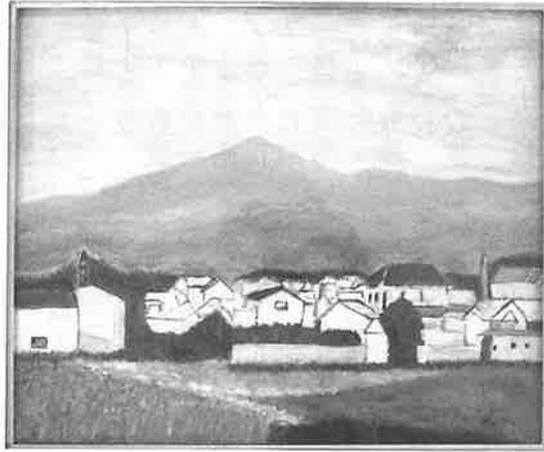
高縄山



松山市教育会
OB
中野 誠司

台から見た美しい瀬戸内海と北条地域を眺めていると、ここに生まれ育ってよかったと思う。
我が家の窓からは高縄山がよく見え、朝起きると山に向かって「今日も見守ってください。」と手を合わせるのである。

北条の山と言えば高縄山。標高986m。平安時代後期にさかのぼれば、この地を治めた河野氏の居城があり、外敵からこの風早地域を守る重要な拠点でもあった。
私たちは小学校高学年になると遠足で必ず高縄山に登った。頂上にある展望



(校区在住の徳永晴樹先生の作品を使わせていただきました)

ご冥福をお祈りします

大野 順廣様	73歳	松山市鴨川一丁目二八	7	7	13
河村眞智恵様	87歳	四国中央市豊岡町長田二二三	12	12	11
濱田 直様	88歳	新居浜市船木元五七	7	7	10
森中 正道様	88歳	北宇和郡鬼北町近永〇〇一	12	12	8
向井イソカ様	109歳	伊予郡松前町筒井〇七五	8	8	5
井上 利彦様	94歳	八幡浜市若山三九七	8	8	2
河野 允裕様	95歳	今治市吉海町福田二〇五	8	8	5
佐伯 雅弘様	90歳	西条市周布五八〇	8	8	8
佐土志保子様	88歳	松山市安城寺町八七五	8	8	10
山本 和一様	88歳	新居浜市中村四四五	8	8	11
寺岡 春代様	100歳	喜多郡内子町大瀬中央四三三	8	8	13

ローカル・ピックス

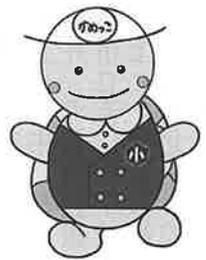
郷土料理「いりこ飯」

今治市菊間町亀岡地区には、「いりこ飯」と呼ばれる郷土料理があります。昔から各家庭で親しまれ、地域の集まりでも振る舞われます。亀岡小学校では、毎年、5年生がPTA活動で「いりこ飯」を作っています。作り方は、まず、いりこの頭、エラ、はらわたを取り除き、細かくほぐします。それを鍋に入れ日本酒に浸して一晩寝かせます。次に、醤油と細かく砕いたきくまあげを加え、中火で焦げ付かないようにかき混ぜながら煮詰めます。最後に、ご飯に混ぜ込んで丸くふんわり握ると「いりこ飯」の完成です。

5年生と保護者の方が心をこめて調理してくれた「いりこ飯」は、おにぎりにして全校児童と教職員に振る舞われました。「いりこ飯」に必要な材料は、全て菊間町や今治市で生産されており、正にふるさとの味です。皆さんも、作ってみてください。

【いりこ飯の材料】

- 米…… 1升
- いりこ……300g
- 日本酒……適量
- しょうゆ……200cc
- きくまあげ(干油あげ)…… 4枚



(愛媛文教月報編集協力委員 柚山 明)

図書室から

◆令和7年度寄贈図書

今年度、以下の図書等を寄贈していただきました。



◆学徒勤労働員絵巻 松岡 紀雄様



◆俳句雑誌 紅日・柿・泉 愛媛若葉・子規會誌



◆いよし百冊物語1・2 岡田由利子様

畳・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(株)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な畳替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生協までご相談ください

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

